

企業名	株式会社文伸				
役職・代表者	代表取締役社長 川井伸夫				
本社所在地	東京都三鷹市上連雀 1-12-17				
電話番号	0422-60-2211	設立年	1962年	従業員数	35名
URL	https://bun-shin.co.jp				

該当するSDGsのゴール



自社紹介及びSDGs取組の概要

当社は地域ナンバーワンの環境配慮の会社を目指し、「自社の活動に加え、地域への普及を推進する」などさまざまなSDGsの取り組みを行っている。具体的には、社内に設置した委員会を中心に自社内の取り組みを推進し、環境に配慮した印刷物のご提案などを通して、お客様や地域へのSDGsの普及促進に努めている。

多くの取り組みに関係している目標は「つくる責任 つかう責任」。文伸は年間3000件以上もの印刷物を扱っており、そのうち4割ほどは再生紙を使用、また、ベジタブルインキ、リサイクルトナーの製品の作成や、日本で唯一のフェアトレード認証紙「ワンプラネット・ペーパー®（バナナペーパー）」を使った名刺の採用など環境負荷の低減に努めている。

文伸の工場（BUN-SHIN FACTORY）は環境に配慮した印刷の総合的な認定制度「GP（グリーンプリンティング）」を取得し、お客様へのGP対応印刷物の普及にも取り組んでいる。

取組のきっかけ、背景

- 2014年の現像レスのCTP刷版機の導入によって、環境負荷の軽減と社員の健康管理を学んだことがきっかけ。その延長上にグリーンプリンティングの認定工場申請があり、そしてその延長上にSDGsが見えてきたという流れである。私たちの企業理念とも親和性があることが推進力になっている。

取組の進め方

- 一つは地域の教育機関への貢献。PTA向けの講座を含め、地域への教育機関への貢献活動にも取り組み、地域イベントへの参画企業市民として、ともに地域を盛り上げ、地域のハブになれるような活動を目指している。

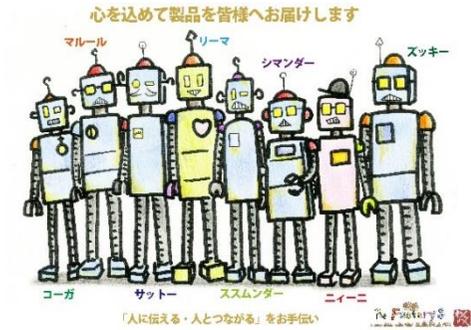
具体的な取組、製品・サービス

- 新たな地域活性型事業への展開としてコロナ禍にも対応した地域密着のデリバリーサービスを展開。企画の提案や地域情報誌の発信など、主に助成金や企画段階からの支援を行っている。「仕事もプライベートも人生の一部であると定義し、両輪を回すことで人生が豊かになる」という考え方で展開している。

- 日本で唯一のフェアトレード認証紙「ワンプラネット・ペーパー®（バナナペーパー）」を使った名刺の採用など環境負荷の低減に努めている。

- 環境に配慮した印刷の総合的な認定制度「GP（グリーンプリンティング）」を取得し、4割ほどは再生紙を使用、またベジタブルインキ、リサイクルトナーなどお客様へのGP対応印刷物の普及に取り組んでいる。

- 東京都西部、三鷹武蔵野エリアに根ざした地域出版を行っている。「井の頭公園いきもの図鑑」、「吉祥寺今昔写真集」など井の頭恩賜公園や吉祥寺など地域の魅力や歴史を伝える書籍、三鷹市星と森と絵本の家のコンテストから誕生した絵本など地元とコラボし、制作、出版している。



FACTORY8（モットーはワクワク働くこと）



グラフィック文伸（年1回発行/活動内容紹介）

取組んだ成果、効果（取組前後の変化）

- 地域において一企業が必要とされるよう、ワークライフインテグレーションを実施することで、多様な働き方が実現できると考えられるようになってきた。弊社のフィロソフィーにもあるように、「社員とその家族の生活を守る会社でありたい」という従業員の人生を豊かにすることが本目的でもあり、その部分は浸透してきている。

今後の予定、展望

- 会社の大小は関係なく、社内で働く人やそれらを取り巻く地域に根付いた活動の推進について、考えてからの行動ではなく、個人または会社として取り組みながら、変化や修正を繰り返し、やりがいを見つける事が今後大事になってくると思う。17のターゲットは必ず何かしらの出来る取り組みがあると考え、社内においても日々の職務を視える化をしながら行っている。